



2018年2月14日  
株式会社シノケングループ  
代表取締役社長 篠原 英明  
(東証JASDAQ・8909)

## 平成29年(2017年)12月期 決算短信(連結) 参考資料

### TOPICS

#### 売上高及び各利益ともに過去最高を更新!!

売上高	1,059億36百万円	(前期比 30.3%増加)
経常利益	122億1百万円	(前期比 23.3%増加)
親会社株主に帰属する 当期純利益	84億89百万円	(前期比 27.4%増加)

- 業績好調により8期連続で増収増益、4期連続で過去最高売上高、6期連続で過去最高益を更新
- アパート販売及びマンション販売の販売(引渡し)実績  
795億78百万円(前期比 34.5%増加)で過去最高を達成

#### 1. 2017年12月期連結業績

当連結会計年度は、主力事業である不動産販売事業において、販売状況が順調に推移したこと、また、不動産管理関連、ゼネコン、エネルギー、介護、その他の各事業についても概ね順調に推移したこと等により、売上高1,059億36百万円(前期比30.3%増加)、営業利益129億20百万円(前期比22.2%増加)、経常利益122億1百万円(前期比23.3%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益84億89百万円(前期比27.4%増加)となりました。中長期のひとつの目標であった連結売上高1,000億円、連結経常利益100億円超を実現するとともに、8期連続の増収増益、4期連続の過去最高売上高、並びに6期連続の過去最高益も達成することができました。

##### (1) 前年対比

(単位:百万円)

	2016年12月期	2017年12月期	対前期比 増減率
売上高	81,294	105,936	30.3%
営業利益	10,570	12,920	22.2%
経常利益	9,895	12,201	23.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,662	8,489	27.4%

##### (2) 業績予想対比

(単位:百万円)

	2017年2月15日 発表連結業績予想	2017年12月期	対連結業績 予想達成率
売上高	105,000	105,936	100.8%
営業利益	11,700	12,920	110.4%
経常利益	11,000	12,201	110.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,800	8,489	108.8%

## 2. 連結貸借対照表の概況

当連結会計年度末の連結貸借対照表の概況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2016年12月31日)	当連結会計期間末 (2017年12月31日)	対前期末増減額
現金及び預金	13,524	23,502	9,978
受取手形・完成工事未収入金	4,530	5,324	794
販売用不動産	26,624	28,631	2,007
不動産事業支出金	15,336	19,285	3,949
有形固定資産	6,143	6,881	738
のれん	1,424	1,128	△296
資産合計	72,273	90,972	18,699
不動産事業未払金	4,782	4,868	86
工事未払金	2,861	3,035	173
短期借入金	15,908	23,611	7,702
長期借入金	20,024	22,400	2,375
負債合計	53,724	64,582	10,857
純資産	18,548	26,390	7,841
負債純資産合計	72,273	90,972	18,699
自己資本比率	25.6%	29.0%	3.4pt

## 3. セグメント別業績の概況

当連結会計年度のセグメント別業績の概況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント	科目/期別	2016年12月期	2017年12月期	対前期比増減
不動産販売事業	売上高	59,123	79,578	20,455
	セグメント利益	9,337	11,333	1,995
不動産管理関連事業	売上高	8,399	10,229	1,830
	セグメント利益	1,173	1,499	325
ゼネコン事業	売上高	11,741	13,532	1,791
	セグメント利益	1,448	1,452	4
エネルギー事業	売上高	848	1,199	350
	セグメント利益	136	224	87
介護事業	売上高	1,042	1,256	213
	セグメント利益	129	94	△35
その他(海外等)	売上高	138	139	1
	セグメント利益	135	182	46
連結	売上高	81,294	105,936	24,641
	営業利益	10,570	12,920	2,349

注) 調整額の表示は省略しております。

## 4. 不動産販売事業における販売実績

当連結会計年度における不動産販売事業の契約実績、販売（引渡し）実績及び契約残高は、以下のとおりです。アパート及びマンションともに販売（引渡し）が順調に推移し、過去最高の実績となっております。

### ① 契約実績

セグメントの名称	金額（百万円）	前期比
不動産販売事業	83,240	104.1%
アパート販売	66,324	104.7%
マンション販売	16,916	101.8%

### ② 販売（引渡し）実績

セグメントの名称	金額（百万円）	前期比
不動産販売事業	79,578	134.5%
アパート販売	61,368	148.2%
マンション販売	18,209	102.7%

### ③ 契約残高

セグメントの名称	金額（百万円）	前期比
不動産販売事業	57,821	106.7%
アパート販売	56,115	109.6%
マンション販売	1,706	56.8%

※アパート販売は契約後に施工を行うため、契約から概ね6～8ヶ月後の引渡しの際に売上計上となります。

※マンション販売の契約残高は、計画以上に推移した前期（2016年12月期）との比較では減少しておりますが、当期（2017年12月期）のマンション販売は計画どおりに進捗いたしました。

## 5. 2018年12月期の業績予想

2018年12月期の業績予想については、主力である不動産販売事業における受注、契約の増加や販売物件の確保が順調である為、業績は好調に推移することが予想されることから、当連結会計年度の業績をさらに上回る過去最高の売上高及び過去最高益の更新を見込んでおり、売上高 1,200 億円、経常利益 132 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 92 億円としております。

（単位：百万円）

	2017年12月期業績	2018年12月期業績予想
売上高	105,936	120,000
営業利益	12,920	13,500
経常利益	12,201	13,200
親会社株主に帰属する当期純利益	8,489	9,200

## 6. 2018年12月期の配当予想

2018年12月期の配当予想については、2017年12月期の普通配当実績45円より15円増配の1株あたり年間配当金60円(中間30円, 期末30円)とさせていただきます。これに加え、更なる株主還元策の一環として、業績達成度合いにより増配される特別配当金を予定しております。

基準日	1株あたり配当金				年間合計
	中間配当	期末配当			
		普通配当	特別配当	記念配当	
2017年12月期実績 ※注1	22円50銭	22円50銭	5円00銭	5円00銭	55円00銭
2018年12月期予想	30円00銭	30円00銭	—		60円00銭
2018年12月期予想 ※注2	30円00銭	30円00銭	6円00銭		66円00銭
2018年12月期予想 ※注3	30円00銭	30円00銭	12円00銭		72円00銭

注1) 期末配当につきましては、2018年3月28日開催予定の第28回定時株主総会の決議をもって正式に決定後、実施予定であります。

注2) 期末時点において経常利益の額が当初予想比10%増である145.2億円を超える事が見込まれる場合、特別配当として期末配当を更に6円増配させて頂く予定です。

注3) 期末時点において経常利益の額が当初予想比20%増である158.4億円を超える事が見込まれる場合、特別配当として期末配当を更に12円増配させて頂く予定です。

以上

<<本リリースに関するお問い合わせ先>> 株式会社シノケングループ IR室 TEL : 092-714-0040
--